

COLUMN: 意味のない努力はない

川西 久志 (今福教室)



こんにちは、久しぶりのGROWINGです。今は本当に大変な時期なので、みんなと一緒に乗り越えたいと思っています。手洗い、うがいはもちろんのこと、消毒やマスクも欠かさずお願いします。私も最初はマスクが息苦しかったのですが、今ではすっかり慣れました(笑)

今回は少し先生の自慢を…。実はZOOMの接続作業をやったのは私です。「そんなアプリ入れるだけやん」と思うかも知れませんが、できるだけ早く一度に100人以上が快適な環境で繋がるためには、やはり知識が必要です。

10年ほど前、まだカイチに入社して間もない頃の私はパソコンがまるでだめで、キーボードもおぼつかない状態でした。そんなある日、インターネットにも繋がらなくなり途方に暮れて

いた時に何とか自分で解決しようと本屋さんで買ったPC本の知識で目の前の問題の一つずつ解決し続けて、接続の方法を覚えしました。その後、カイチでネット接続に困っている先生を助けたところ、次々にコンピュータに関する質問をみんなから受けるようになりました。その都度、勉強して対応するうちに、それが楽しいこともあり、パソコンの知識がどんどん身に付いていきました。そして、たまたまコロナで映像配信に移行するときに、誰かいないかとなって役に立ちました。ちなみに諸口の高木先生は普段から社会のYOU TUBEを見るのが趣味で、高木先生が制作したコンテンツがモデルになってZOOM授業が作られました。

そのように考えると、やはり「無駄な努力はない」とつくづく思います。今は、コロナで出来ないけれどもクラブ活動や趣味などもそうです。サッカーをやっている人がプロになれなくても、サッカーで培ったチームワークやリーダーシップ、もしかしたら体力!なんかも役に立つ日が来るかも知れません。それと同じで勉強も、日常生活で古文を読むことはなくても、その取り

組み方や計画の立て方は、ありとあらゆる事に役立ちます。

ようやく、学校生活も戻ってきました。「意味のない努力はない」と思いながら、クラブに勉強に、そしてコロナの状況にも取り組んでください。ちなみに、私達カイチの先生達もコロナ対策で培った映像を初めとする様々な方法を「意味のない努力ではない」と考えています。



▲「パソコンが好きだー!」



西村の ちょっとい話

TEACHER'S VOICE

西村 龍人 (今津教室)

「ジリツ」のすすめ

初めまして。昨年の8月より開智総合学院今津教室で個別クラスを担当させていただいております。西村龍人と申します。見かけによらず若く、現在は京都にある大学に通う二回生です。体格の良さからラグビー部や、柔道部といわれますが、高校時代は囲碁部に所属するといった少し風変わりな人間です。今日はそんな高校時代の担任の先生の言葉をご紹介しますと思います。

皆さん、「ジリツ」していますか?なぜカタカナなのかというと、この「ジリツ」には二つの意味があるからなんです。

一つ目は自立。皆さん、自立の意味はご存

じでしょうか。自立とは自分で物事をすることを言います。朝起きるとき、お母さんに起こしてもらったりしていませんか?もしそうだとしたら、今が自立のチャンスです。明日の朝からは自分で起きられるように、いまから様々な計画を立てていきましょう。ちなみに私のおすすめは、スマホのアラームを自分のお気に入りの音楽に設定して起きることです。すっきり気持ちよく目覚められますよ。自立することで他人にかける迷惑も減り、自分の将来にも役立ちます。しっかり自立しましょう。

そして二つ目の「ジリツ」は自律です。自律とは自分でコントロールすることを言います。皆

さんは、自分に決めたルールみたいなものがありますか?私は夜中遅くに甘いものを食べないというルールを自分に課しています(時々食べてしまいますが…)。このように自分にルールを決めることで自分がどのように行動すればいいのか、そのために何をすべきなのかかわかってくると思います。夜遅くまでスマホを触ってYouTubeを見たり、SNSを使って他の人と連絡を取り合ったりしていませんか?その時間も息抜きとして大切かとは思いますが、その時間を少しでも減らして睡眠時間に回していくといったようなルールを決めるのもいいかもしれません。

私の高校時代の話になってしまいますが、自分に課したルールの一つに、「与えられた課題に自分で価値づける」というものを決めていました。他の人からしたら普通のものも自分にとっては少し違ったものにすることでモチベーションも変わりますし、そのおかげで入試対策にすることもできて一石二鳥でした。おかげで第一志望の大学の入試問題にも似たような問題が出てきて、やってよかったなと思いました。自分にルールを課したり、自分で物事を行うことで「ジリツ」を図って欲しいなと思います。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

June 2020
Vol. 93

毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

本当の戦いはここから。
さあみんなで巻き返そう!

ようやく緊急事態宣言が解除され、学校も再開されました。まだ不安はありますが、日常が少しずつ戻ってきました。生徒並びに保護者の皆様に長らくご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

地元密着の学習塾として、長年、地域の皆様にお世話になってきた私達として考えたことは、「子供達の勉強を止めない」ということでした。勉強は子供達にとって未来への投資です。将来、社会で活躍し、人の役に立つ人間になるための投資です。けっして、楽しいことではないかもしれませんが、地道に勉強を続けると静かな自信が身に付き、凜とした強さが出てきます。今年の受験を困難の中、乗り越えた受験生たちにもそれが見えました。

そのような中、カイチの先生達が選んだのが、ZOOMでの双方向授業で、さらに時間をたっぷりかけて解説用パワーポイントを作り授業に挑むことでした。来る日も来る日も、深夜LINEで「30分後にZOOMで模擬授業をします。」と連絡が入り、先生達がZOOM内で集まり、授業の善し悪しを「あーでもない、こーでもない」とチャットで語り合う。そういう先生達の姿を見て「心底、この人達は教えることが好きで、いいものを生徒に与えてあげたいと思っているのだな」と思いました。

その後、川西先生が難しいと考えていたそろばんについても「ZOOMでやりましょう」と動画を持ってきました。様々な試行錯誤を重ね、とにかくみんなが集まって、やってみようということで、パスカルキッズやトーキングキッズの授業も作っていきました。(そろばんの入門は家で奥さんの奈穂子先生と練習しました。パワーポイントも最初の方は私が作りました。)

初日の授業は、先生達よりも私がドキドキでした。初日は、決して合格点と言えない内容でしたが、トーキングキッズの子供達が、画面の向こうで、先生達と歌ってダンスしていたり、そろばん生やパスカルキッズ生たちが、家族の方と一緒に懸命授業を聞いてくれている姿を見て、子供達・保護者・先生、みんなで協力して授業を作っている喜びと、リアルでなくても、ネット空間でみんなが集まり学べる、それが決して無機質ではないという、不思議な感覚になりました。

まだ、中学部では3密を防ぐため、週2回の通塾と週1回のZOOM指導で授業を進めています。ZOOMの指導では、確かに板書授業ではできな



▲大好評だった森先生のパスカルZOOM授業。1週間がかりで3つの授業を制作していました。

必要です。

「コロナで、行きたい高校に行けなかった」「コロナで、勉強がわからなくなった」そんな言い訳は許されません。

緊急事態宣言明けのテスト結果は、2極化。全く問題なく成績を残した生徒とガタガタに下がった生徒…。

こんな時だからこそ、みんなで頑張ろう。こんな時だからこそ、粛々と努力を重ねよう。

そして、こんな時だからこそ、自分の弱さと向き合おう。

ようやく、新学年がスタートしました。みんなにとってのコロナとの戦いはここからです。さあ、みんなで巻き返そう!



▲今はマスクと手洗い、そしてソーシャルディスタンス。

〈保護者の皆様へ〉

3カ月の休校期間。もちろん私達大人も経験したことのない未曾有の事態です。子供達はコロナへの警戒を維持したまま、新学年をスタートしていきます。特に新小1生や、新中1生はここから新しい環境に入っていきます。通常でも精神的に不安定になったり、身体的に疲れが出やすくなる時期です。どうか、注意深く見てあげてください。

また、中学3年生は受験勉強の遅れが気になります。夏休み期間も短くなる事が既に決定しています。子供達の受験は私達が全力でバックアップします。絶対に悔いや後悔がないようにします。しかしその分、負担もかけてしまいます。また、中学生生活最後のクラブの大会や学校行事の中止など、フラストレーションを溜める事態も想定できます。思春期で受験生、それだけでなくデリケートな彼らをさらに、不測の事態が襲うかも知れません。それを、大きな心で受け止めていただけるのは、やはり保護者の方しかいません。保護者の方も大変な時期だと思いますが、どうか子供達への声かけ見守りを注意深く行なってください。ここからが本当の戦いです。何かありますときは遠慮なくご相談ください。

カイチからの
お知らせ

- 6月の珠算上級検定は中止が発表されました。次回検定は10月ですので、合格点に達している人は塾内検定に挑戦してください。
- 中学生の期末テスト対策は6月下旬を予定しています。各学校の日程がわかり次第、正式な対策日程を授業内でお知らせします。
- 小学診断テストを7月1日(水)・2日(木)で実施します。予想問題がんばりましょう。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



勉強のやり方から進路の考え方まで、 寄り添う教室に。 〈エニグマ紹介〉

富田 昌史 (エニグマ)

エニグマは、「地頭もよく、せっかく私学の中学に入ったのに、勉強についていけない…」というカイチ生の悩みを原点として、2019年4月からスタートしました。中高一貫校生向け・1クラス最大6名の少人数授業の中で、生徒たちはゆったりと力を伸ばしていています。また開校当初は生徒7人のスタートでしたが、一年後の現在は21名の生徒が在籍しています。先生たちも元気いっぱいの中、なぜか生徒達もニコニコしながら来てくれています。教室の「隠れ家」のような雰囲気を楽しんでいるそうです。

休校期間とズーム授業

皆さんは3月末からの2か月間をどのように過ごされたでしょうか。今回学校に通えない中で、多くの生徒達が苦勞をされたと思います。エニグマでも約2か月にわたり教室は閉鎖しました。生徒の安全を第一に考えた対策でしたが、ただ同時に学校も混乱しがちな中で、学びの機会を途切らせるわけにはいかないと考えていました。そのため、「学校が始まればやりたいことを存分にしたい。だからこそ今できる勉強を全力で進めよう」という声掛けから始め、Zoomを使った授業を始めました。この時期の勉強が今後の大きな差を生むという危機感がありましたが、生徒達はいつも以上に質問をオンラインで送ってくれたり、勉強計画を自発的に相談してくれるなど、非常に自立的な姿を見せてくれました。



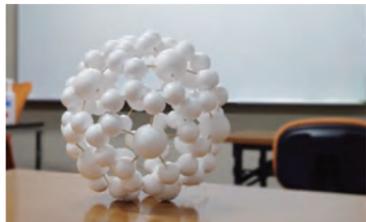
▲ホワイトボードを使ったライブ感のあるZOOM授業になりました。

ZOOM授業のマスコットのフレデリック君。生徒の人気者です。▶



エニグマでの指導

エニグマでは「中高一貫生が安心して勉強できる環境」を大切にしています。「安心して勉強」というと当たり前の事かもしれませんが、中高一貫生には特有の苦しみがあります。それは、少し勉強についていけなくなった時に、悩みを人に相談しづらいという事です。中学受験を経た生徒ばかりのため、学校でも塾でも出来る事が当たり前のように感じ、「勉強を何から始めていいのか」という基本的な事が非常に聞きづらく思っています。私自身、中高一貫校では英語や数学の進度が早く、友達がやっている当り前の勉強についていけず、大きな劣等感に悩む時期がありました。このような経験があるからこそ、エニグマでは、先生自身が何よりこのしんどさを分かっています。これを解決するために、まずは「何ができていないか」という点をじっくりと聞いた上で、頑張るべきポイントと順番と一緒に整理していきます。また授業では、生徒の持っている問題集一冊を徹底的にやりこむ事で分からないところを整理し、中途半端になることなく力をつけていきます。こうする事で、定期テスト前には「何をすべきか」がわかり、学習スケジュールを立てて頑張る事が可能になります。そしてこのように先生と一緒に当り前を進められる場こそ、安心して勉強できる環境だと考えています。



▲理系の内容では、イメージに實際触れることも大切です。化学に出てくる形ですが、分かりますか？

エニグマでの進路指導

生徒との2者面談を定期的に行っていますが、中高校生で一番時間をかけることは、「専門を何にするか」です。これには2つの理由があります。一つ目は、専門選びは将来を左右する大きな選択ですが、その話を聞く機会が多くないという

現状があるからです。専門はある程度職種の選択にも関わり、また大学での4年から6年間で勉強に打ち込めるかのカギとなります。ですが学校では、「どの大学を目指したらよいか」という話は何となく分かって、将来を決める専門についてじっくり聞く機会は多くありません。そのため、エニグマでは、大学での専門授業の内容を熟知した理系・文系の先生が授業や面談の中で、大学学部の特徴や研究の内容をじっくりと知ってもらいます。このようにじっくりと考えてもらうことで、高1での文理選択、高2高3での学部学科選択をそれぞれが納得する形で決めることが可能になります。

二つ目は、家庭内で子供の進路について話し合う事の難しさです。保護者の方からも、「親で遠慮して、なかなか進路について本音を話し合えない」、「専門分野が複雑でアドバイスが難しい」というような悩みを聞く事が多くあります。一方で、エニグマの先生に対しては信頼関係もありつつ、同時に一定の距離感があるので、気軽に何でも話せるという点があります。またお子さんの悩みや志向について、客観的に保護者の方にお伝えすることができます。

このように「専門」のイメージを把握し、ご家庭と共に進路選択する事で、受験勉強のモチベーションが確固たるものになっていきます。今年の大学入試では、元カイチ生でもある生徒さんが、横浜国立大学に後期入試で見事合格されました。彼女は大手の塾にも通われていたものの、昨年夏にエニグマに来て、初めて進路指導をしてもらったそうです。そこから「専門を何にするか」という点を最優先に、納得するまで何度も何度も時間をかけて面談をしました。後期入試は相当モチベーションを保つのが難しいのですが、そこで話し合ったことが頑張る大きな支えになったと話してくれました。

エニグマでは生徒にしっかりと目標を持ってもらいながら、今年も生徒の学力向上と志望校合格を必ず果たしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



ようやく授業再開! 感染防止策をとりつつ、学力向上を

坪田 陽一 (諸口教室)

この原稿を書いているのは5月最後の週。ようやく全国的に緊急事態宣言が解除となり、世間では徐々に以前の日常が戻ってきているように感じます。とはいえ、せめてワクチンや特効薬ができるまでは、医療従事者の皆さんの負担を少しでも減らせるよう、感染防止に努め、第2波に備えてあるため気を引き締める必要を感じています。

カイチとしては、感染拡大防止の対策をきちんととりつつも、通っている生徒の皆さんの学力をきちんと上げるのが責務。3月からの学校の休校措置に合わせて塾も休講としましたが、学習時間の激減による学力低下を防ぐ為、急速「ZOOM」というアプリを使用して双方向の映像授業を実施しました。

緊急事態宣言が出された4月からは、珠算やパスカルキッズ、トーキングキッズや英検対策講座までZOOMで授業を始め、色々な失敗やトラブルで保護者の皆様からお叱りを頂戴しながらも、試行錯誤を重ね、授業の品質向上に努めて参りました。参加して下さった生徒・保護者の皆様、またお電話等で貴重なご意見を下さった皆様、本当に有難うございました。

今後、コロナが終息した後も、このようなネットを活用した指導は急速に普及していくものと思われます。今回の経験をヒントとして、家庭学習のサポートなど、より充実したサービスを提供できるよう考えていきたいと思います。

さて、そんな中でいよいよ学校も再開となり、塾も本格的に教室での指導を再開していますが、同時に感染拡大防止の対策は確実に実行しよう努めております。主に以下の点となります。

- ・全員マスク着用(教室にも予備を準備していますので、忘れた場合は申し出て下さい)
- ・先生、生徒の入室時の手洗い、消毒
- ・生徒の入れ替えごとに机や椅子の背もたれ等、よく触れる場所の消毒
- ・換気
- ・生徒の机同士を1m以上空ける



▲机同士を1m以上離し、密にならないようにしています。

生徒保護者の皆様にはご不便、ご面倒をおかけすることになるかと思いますが、ご理解の上ご協力をお願いいたします。

さらに、中学生につきましては、そのままのクラス編成だと教室での密状態が避けられないため、人数の多いクラスを分け、曜日や時間割を調整し、分散して授業を実施することになりました。また、**英語・数学は教室にて週2回授業を行います**が、**国語・理科・社会についてはZOOMによる授業を当面は続けていきます。**

ここで、多くの保護者の方が不安に感じられるのは、おそらく「国理社はZOOM授業で大丈夫か?」ということだと思います。結論から言えば、**授業の品質自体は全く問題なく、むしろ向上します。**理由は2つ。1つ目は、**担当する先生です。**3科目ともパワーポイントでスライドを作成して授業を進めますが、作成は各教科の主任の先生です。アルバイトの先生にも作業を手伝ってもらっていますが、授業内容や構成そのものは主任が考えて作成します。また実際にZOOMで授業するのも主任、または講師歴10年以上のベテランです。普段は各教室に散らばっている一流の先生達と一緒に会って授業を行うので、品質は全く問題ありません。



▲パワーポイントの授業の1場面です。

2つ目は、**パワーポイントを使った授業であること。**教室では板書の際、少し生徒に待っても

らうような時間が発生しますが、それがなくなることで授業のテンポがよくなり、解説や演習により多くの時間を充てることができます。さらに実際の写真や映像等をテンポよく見せる等、板書授業では不可能だった色々な表現が可能になり、分かりやすい授業が展開できます。

このように、授業自体はよいものになります。問題は、その授業を受ける生徒の皆さんです。教室で先生から直接授業を受けているときと、自宅で画面を通して授業を受けているときとは、緊張感も集中力も全く違うのは当然です。そこで、**教室での英語・数学授業の後、理科・社会の小テストを実施します。**授業内容を理解していればきちんと答えられる問題を出し、不合格は居残りしていただきます。出来が悪ければ当然先生から追及されますし、サボっていたこともばれます。また居残りの時間に質疑や二者面談も行い、ZOOM授業に対しても真剣に取り組むよう指導していきます。

ここで一つ、中学生の生徒保護者の皆様にお願いで、**ZOOM授業の際、出来る限りカメラをONにして顔を出してください。**そもそもカメラがついていない端末の場合は致し方ありませんが、顔を出すささないで緊張感が全く違います。代わりにアニメキャラ等を表示したりする生徒もいますが、こちらとしてはあまりいい気分ではありません。

ご家庭の事情等もあるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

今後の感染状況によっては、再び教室を閉める可能性もあります。その際はまたご不便をおかけすることになるかと思いますが、感染拡大防止と学力向上、この2つを両立させながら教室を存続させていきたいと考えておりますので、何卒ご

月～金曜日(週2回教室)		土曜日
英語	数学	国理社のZOOM授業
数学	英語	
理科社会小テスト フォロー		

◀ 中学部の時間割